

地域で取り組む 喫煙対策

第1回

熊本市繁華街パレード 「スモークフリー・ウォーク」



私は外来看護師として、熊本市市民病院に勤務、禁煙外来や糖尿病患者支援に従事するとともに、医療系ボランティア団体「くまもと禁煙推進フォーラム（代表：橋本洋一郎・熊本市立熊本市市民病院診療部長）」に所属し、禁煙活動を行っています。くまもと禁煙推進フォーラム（以下、フォーラム）は設立から4年目を迎え、現在は160名を超える会員で構成されています。会員が住む地域、働く職種はさまざま、フォーラムの活動が熊本県全域に浸透してきたと実感しています。2012年6月3日には、熊本市繁華街パレード『スモークフリー・ウォーク』のイベントを行いました。イベントのレポートならびにフォーラムでの活動を紹介します。

熊本市立熊本市市民病院 看護師 藤本恵子

【フォーラムでのおもな活動内容】

1. 防煙授業

ライフワークとして長く続けたいと思う活動が、小中学校で行う喫煙防止（防煙）授業です。防煙授業では、①タバコの自己紹介（ニコチン依存症やタバコ煙の実験など）、②世界と日本のタバコ事情（パッケージや自動販売機の違い、アニメの違いなど）、③勧められたときの断り方（ロールプレイ）などを話しています。生徒たちのタバコに対する予備知識は思いのほか豊富で、リアクションの良さには驚かされる場面もあります。タバコに対し正しい知識を持ち、タバコの誘惑から身を守ってほしいと願い、授業を行っています。

2. 禁煙セミナー

今年度は熊本県下の医療施設や看護協会支部で、出前禁煙セミナーを行っています。講演の名



小学校での防煙授業

称は「やってみよう！禁煙サポート」です。フォーラム副代表の高野義久医師（たかの呼吸器科内科クリニック院長）と一緒に講演を行うときには、禁煙サポートの具体的方法を行動変容ステージ別の実演します。聴講者にも、実際に患者役と医療者役になってもらい、交代でロールプレイを行っています。参加型のロールプレイは、現場で実用性の高いセミナーを目指しています。毎回違う状況や話が設定され、私自身とても勉強になります。

【熊本市繁華街パレード「スモークフリー・ウォーク」】

毎年5月31日は世界保健機関が定めた世界禁煙デーです。5月31日～6月6日は禁煙週間で、



卒煙を応援するオリジナルのキャラクター「禁煙戦隊ソツエンジャー」



パレードの様子

全世界で禁煙についての関心呼びかけるイベントが行われます。フォーラムでも、この機会を利用し、6月3日（日）に熊本市繁華街パレード（スモークフリー・ウォーク）を企画しました。当初100名前後の参加数を目標に掲げたものの、最終的な参加者は250名を超え、大パレードとなりました。当日は初夏を感じる晴天で、暑い^{ひより}くらいの日和でした。メンバーは、この日のために作成したフォーラムのロゴ入りTシャツを着用しました。熊本市内の大学や専門学校から参加した学生も多く、活気のある元気な声で、「キツエンからキンエンに！」などのキャッチフレーズを呼びかけながら行進しました。また卒煙（喫煙から卒業すること）を応援する5人組のヒーロー「禁煙戦隊ソツエンジャー」（フォーラム世話人・倉本剛史医師〔弘仁会荅北クリニック院長〕作成）は、街頭を歩く大人から子どもまで大人気で、写真撮影や握手などでパレードを盛り上げてくれまし



スモークフリー・ウォークを終えて、参加者全員と

た。参加者は、全国ゆるキャラグランプリに輝いた「くまモン」や、「禁煙カルタ（フォーラム製作・監修）」の読み札をかたどったプラカードを手に、熊本中心部の街頭約500mを40分間かけてパレードしました。マスコミの取材クルーも思いのほか多く、喫煙や受動喫煙の害に対する関心度が上がってきていることを実感できました。

フォーラムデータ

- 名称：くまもと禁煙推進フォーラム
- 代表：橋本洋一郎（熊本市立熊本市市民病院診療部長）
- 副代表：高野義久（たかの呼吸器科内科クリニック院長）
- 問い合わせ：たかの呼吸器科内科クリニック
e-mail：smokefreeaction@yahoo.co.jp
FAX：0965-32-2729
- ホームページ：http://square.umin.ac.jp/nosmoke/index.html

おわりに

今回、熊本市繁華街パレード「スモークフリー・ウォーク」に準備段階から参加しました。熊本県では初めての取り組みであったため、成功するかどうか不安もありましたが、振り返ってみると、喫煙や受動喫煙の影響について熊本の皆さんに、関心を持ってもらえるインパクトあるイベントとなったのではと感じています。また今回のイベントに参加することでいろいろな方と出会い、あらためてフェイス・トゥ・フェイスによる情報交換の重要性を再認識することができました。今後は、熊本県の行政機関、教育現場を巻き込み、「無煙環境」実現のための活動が大きな社会運動の流れとなるよう、日々のフォーラム活動を一人の看護師としてサポートしていきたいと思えます。